

【町長】

| | | | |
|----------|---|----------|------|
| 通告順 | 1 | 質問 議員 | 畑地議員 |
| 質問 項目 | 河川整備計画と事前放流 | | |
| 質問 内容 | <p>台風シーズンとなり、日本各地で災害が多発しています。 台風10号の接近では、九州や四国などの73のダムで事前放流がなされていましたが、このことは国土交通省より本年4月に策定された事前放流ガイドラインをもとに、減災に繋がる措置として注目しています。地球温暖化の影響が益々懸念され、治水の基本指針である石狩川水系河川整備計画には現状に合わせた変更も必要と思います。</p> <p>そこで以下の3点、河川整備計画とダムの事前放流に関することを質問します。</p> <p>① 沼田町にある河川やダムで事前放流を検討したこと、あるいは判断の基準はあるのか</p> <p>② 平成29年に策定された石狩川水系河川整備計画では、ダムの事前放流は考慮されていないが、計画実施への影響は無いのか</p> <p>③ 整備計画にある河道掘削等の工事は周辺の生態系に大きな影響が出ないことを前提に実施され则认为るが、希少動物や化石などへの配慮はあるのか</p> | | |

【町長】

| | | | |
|----------|--|----------|------|
| 通告順 | 2 | 質問 議員 | 鵜野議員 |
| 質問 項目 | 子育て交流広場の一年間の利用状況と今後の運営 | | |
| 質問 内容 | <p> 昨年の6月にオープンした子育て交流広場の一年間の利用状況と今後の運営について聞きます。 </p> <p> この、子育て交流広場事業は「子どもの遊び場」や「一時預かり保育」や「保護者の交流の場」などの補完として、子育て世帯の多様なニーズに対応するための整備事業です。 </p> <p> 一年間の利用状況を見ると大きく下回った結果となりましたが、その大きな要因は何か。 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当初の事業計画で示された活動「子育て相談」、「一時預かり」から「情報の提供」までの16項目の利用状況と利用されなかった原因は何と考えるか。 2. 今後この施設をどの様に利用率を上げるのか、ニーズの把握ができているのか 3. 子育て交流広場を含め子育て支援事業全体がここ2年で手薄になった感があります。 <p> 平成30年度で行った子育て支援事業の事業数と事業費を令和2年の事業数と事業費の比較をすると大きく減少している。多様化する時代のニーズに答える、新たな展開も必要ではないか。 </p> | | |

【町長】

| | | | |
|------------------|---|------------------|-------------|
| <p>通告順</p> | <p>3</p> | <p>質問 議員</p> | <p>高田議員</p> |
| <p>質問 項目</p> | <p>「#北海道沼田町」で町を挙げて情報発信を</p> | | |
| <p>質問 内容</p> | <p>町の情報発信は「移住定住事業」や「ふるさと納税」に大きな影響を与えます。北海道沼田町という町を知ってもらわないことには、移住はあり得ないし、ふるさと納税も発生するはずがありません。</p> <p>情報発信の手段として近年SNSが利用されています。現状を見てみると総務課の広報グループが公式の「フェイスブック」と「インスタグラム」を運営しています。「フェイスブック」は頻繁にアップされていますが、「インスタグラム」は最近動きが少なくなっています。</p> <p>6月くらいから「北海道沼田町まちおこしPJT」が「インスタグラム」を使い、非公式ながら「#北海道沼田町・#田舎暮らし・#移住・#美味しい米のまち沼田・#雪中米」などのキーワードを使って投稿が始まりました。町内の何気ない風景を、俗に言う「インスタ映え」がする画像で紹介されており、好感をもって見えています。</p> <p>町内でも「インスタグラム」を利用している人はかなりいると思われます。これらの人達がそれぞれのアカウントを使って「#北海道沼田町」を発信してはどうか。</p> <p>また、季節ごとに「#ほたるの里」「#夜高あんどん祭」「#雪中米」などを、集中的・組織的に発信するとより効果があると思われます。</p> <p>町民皆様のかも借りながら、「#北海道沼田町」をもっと発信してはどうか。</p> | | |

【町長・教育長】

| | | | |
|----------|---|----------|------|
| 通告順 | 4 | 質問 議員 | 高田議員 |
| 質問 項目 | ポートハーディ地区との交流を今後どうするのか | | |
| 質問 内容 | <p>平成6年9月にカナダ・ポートハーディ地区と姉妹都市提携を結び、26年が経過しました。この間交流の方法には多々変化はあったものの、お互いの交流協会の努力により、良好な関係が築かれて来ました。</p> <p>昨年は先方の都合で沼田への来町が中止となりました。また本年はコロナ禍の影響で沼田からの訪問が中止になっています。</p> <p>一年ごとに相互に訪問することを決めてから、2年連続で訪問が中止になったのは初めての事です。</p> <p>町長への質問</p> <p>両町(地区)交流協会の主たるメンバーは、ほぼ変わることなく26年が経過しました。沼田交流協会も中心となって活動してくれる若い人材を欲しています。派遣団の選考方法や交流(派遣)の方法を見直す考えはあるのか。</p> <p>教育長への質問</p> <p>仮にコロナ禍が来年終息していたら、中学生の派遣団を考えているのか。また、残念ながら今年機会を逃した子供たちには、何らかの形でチャンスを与える考えはあるのか。</p> | | |